

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 ものづくりテクノフェア開催支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 技術支援係 電話番号：058-272-1111 (内 3048)

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,000 千円 (前年度予算額：7,000 千円)

※隔年開催であるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催延期 (R元年度は0千円。H30年度の予算額は7,000千円)。

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,000	0	0	0	0	0	0	0	7,000
要求額	7,000	0	0	0	0	0	0	0	7,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内の企業、教育機関や研究機関が連携を深め、新事業・新技術の創出を推進することにより、県内産業の振興を図るため、(一社)岐阜県工業会が主催する「ものづくり岐阜テクノフェア」開催に要する経費の一部を補助し、開催を支援する。

(2) 事業内容

□開催趣旨

- 岐阜県内外の企業・大学・研究機関等が一堂に集まり、世界に誇る製品や技術・研究成果などを展示し、関係者のみならず県民などに公開することにより
- ・出展者の知名度の向上を図り、人材確保にも貢献する。
 - ・出展者相互及び来場者とのビジネスマッチングを積極的に推進し、市場拡大に貢献する。
 - ・異業種企業や産学官の出会いの場として、新たなネットワークの形成と新事業・新技術の創出に貢献する。
 - ・岐阜県の優れたものづくり技術を国内はもとより、世界に発信する。

□開催日程 令和3年10月22日（金）、23日（土）

□開催場所 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

□主催 一般社団法人岐阜県工業会

□内容

○出展ゾーン、ビジネスマッチングゾーン

・企業の自慢の製品や得意技術、団体・大学・研究機関の活動内容・研究成果、自治体の活動内容などを展示する。

・出展者と来場者との商談

○ものづくり体験コーナー

・「ものづくり」の次世代を担う児童・生徒の皆さんを対象に、「ものづくり技術」「科学」の魅力や大切さ、面白さを気軽に体験できる工作教室を開催する。

○講演会

・記念講演会、特別講演会を開催。

（3）県負担・補助率の考え方

県内企業が誇る新技術・新製品を広く県内外に発信する貴重な機会である「ものづくり岐阜テクノフェア」の支援は、県内産業の振興につながるため、県負担は妥当である。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	7,000	(一社)岐阜県工業会事業への補助金
合計	7,000	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）国・他県の状況

他県においても同様の産業団体への財政支援を実施している。

（2）後年度の財政負担

継続して県が負担

(3) 事業主体及びその妥当性

(一社) 岐阜県工業会は、業種、業態等の相違に関わらず技術開発を中心に企業間の交流を深め、経営基盤の強化、技術の高度化、新製品及び新技術の開発による新規事業分野への進出等を促進し、本県工業の進歩及び発展を図ることを設立目的にしており、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	ものづくりテクノフェア開催支援事業費補助金
補助事業者（団体）	一般社団法人岐阜県工業会 （理由） 岐阜県工業会は、県の基幹産業である製造業に関わる多くの企業で構成されている団体であるから。
補助事業の概要	（目的） （一社）岐阜県工業会が主催する「ものづくり岐阜テクノフェア」の開催を支援することで、県内の企業、教育機関や研究機関の連携を深め、新事業・新技術の創出を推進することにより、県内産業の振興を図る。 （内容） （一社）岐阜県工業会が主催する「ものづくり岐阜テクノフェア」の開催に要する経費に対する補助。 ・ 伝統産業からハイテク産業までを一堂に集めた企業、大学等研究機関の展示 ・ 記念講演会、特別講演会、シンポジウムの開催 ・ 子どもたちを対象としたものづくり体験コーナーの開催 等
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（7,000千円） （内容） ものづくり岐阜テクノフェア開催に要する経費 （理由） 県内の企業、教育機関や研究機関の連携を深め、新事業・新技術の創出を推進することにより、県内産業の振興を図るため。
補助効果	ものづくり岐阜テクノフェアの開催により、県内の企業、教育機関や研究機関の連携を深め、新事業・新技術の創出を推進する。
終期の設定	終期 令和6年度 （理由） 新事業・新技術の創出を推進することにより、県内産業の振興を図るため、継続して支援するべき。

（事業目標）

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

県内企業のものづくり技術、製品、研究開発成果等を広く一般に公開し、県内外企業や産学官等との技術交流による新事業・新技術の開発促進、および

び広域的な受注機会の増大と新規販路開拓を促進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (令和3年度末)	目標 (終期)
① 来場者数		35,000	35,000

	H23年度	H25年度	H27年度	H30年度	令和3年度 (要求)
補助金交付実績	7,000千円	7,000千円	7,000千円	7,000千円	(要求額) 7,000千円
指標①目標	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
指標①実績	26,500	21,800	28,300	65,000	(推計値) 30,000
指標①達成率	75.7%	62.3%	80.9%	185.7%	(推計値) 85.7%

(前年度の成果)

(隔年開催のため、H30年度の成果)

出展企業相互また来場者との積極的なビジネス交流の場となっている。

- ・ 来場者数 65,000人
- ・ 出展者数 100社・団体/163小間
- ・ 出展効果 商談成約…14件、見積・サンプル・資料提出…701件、
会期終了後、詳細を詰める約束…96件、
他社との情報交換…752件、その他…1,914件

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
企業関係者の来場を増やすために、事前の案内方法等を工夫する。

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

○：必要性が高い、△：必要性が低い

(評価)	県内ものづくり企業の優れた技術を広く発信する機会であり、県内の産業振興につながる事業である。
○	

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価) ○	出展者相互および来場者との間でのビジネスマッチングやネットワーク構築商談などが行われ、販路拡大、技術高度化等のビジネスチャンス創出の有効な機会となっている。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価) ○	県工業会会員企業ならびに行政機関、大学等からなる実行委員会により、実施内容の検討を重ねており、企業ニーズ及び経済情勢に対応した効果的な事業を実施している。

(事業の見直し検討)

引き続き、県内企業のものづくり技術、製品、研究開発成果等を広く一般に公開し、県内外企業や産学官等との技術交流による新事業・新技術の開発促進、および広域的な受注機会の増大と新規販路開拓を促進する。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止
(理由)